

海外生活 エッセー

ソウル事務所

趣味に熱中する韓国の人々 ～まずは形から～

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 酒井 陽一郎 (宮崎県派遣)

韓国では、高校生になるとその道のトップレベルを目指す一部の層を除いては、日本でいうところの部活動やクラブチームに所属する人は少なく、勉強に打ち込む風習が根強く残っています。

その反動なのか、大人になってからの趣味に対する韓国人の熱量には驚かされるのが度々あります。

➔ コロナ禍で人気上昇 「日帰り登山」「漢江サイクリング」

韓国の首都ソウルは、周囲を山々に囲まれています。地下鉄やバスなどを利用して簡単に登山口までアクセスでき、日帰りも可能なことから、登山はもともと韓国で気軽に楽しむことができる趣味として人気がありました。

近頃は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、その人気はより一層高まっているように感じます。百貨店などでは、登山関係のショップが多くみられ、ファッションに敏感な韓国女性をターゲットにした多様なアイテムが販売されています。週末には、おしゃれな登山ウェアに身を包み、大きなリュックサックを担いだ人を駅や街中で頻繁に目にします。



ソウル近郊での登山

また、韓国最大の流域面積を誇る川「漢江 (はんがん)」でのサイクリングも韓国を代表する趣味の1つです。

1台数十万円するような自転車を保有している人も少

なくなく、漢江の近くでは、ツール・ド・フランスさながらの本格的なウェアを身



にまとい、サングラスを着け、ビシッと決めた格好でサイクリングを楽しんでいる韓国人を目にすることができます。

➔ 配信まで行う草野球

私は、韓国で草野球チームに所属していますが、何よりも驚いたことが、趣味の集まりにも関わらず、毎試合複数方向から撮影をしながら試合を行っていることです。

試合に熱中するがあまり、審判の判定に対して、抗議がなされるシーンも少なくありません。そんなときは、プロ野球さながらの「チャレンジ」が行使され、審判たちは映像の確認を行います。また、試合後にはインターネット上に試合の様子が編集された上でアップされ、同じリーグに所属しているチームの研究がなされています。

韓国の人々は、「まずは形から」入って、趣味を全力で楽しんでいる印象が強いですが、私生活を充実させる1つの方法としてこれもアリなのかなと感じています。



毎試合配信される草野球